

製品仕様



部品名	材質	耐熱温度	消毒方法の可否		
			煮沸	薬剤	電子レンジ
A 本体	ポリプロピレン	110℃	○	○	○
B シャフト	ポリプロピレン	110℃	○	○	○
C シリコンポンプ	シリコンゴム	120℃	○	○	○
D ハンドル	ポリプロピレン	110℃	○	○	○
E さく乳カップカバー-M	シリコンゴム	120℃	○	○	○
F 逆止弁	シリコンゴム	120℃	○	○	○
G 哺乳びん150ml(広口用)	ポリプロピレン	110℃	○	○	○
H 乳首(Yカット)(広口用)	シリコンゴム	120℃	○	○	○
I キャップ(広口用)	ポリプロピレン	110℃	○	○	○
J フード(広口用)	ポリプロピレン	110℃	○	○	○
K お手入れピン	ポリプロピレン	110℃	○	○	○

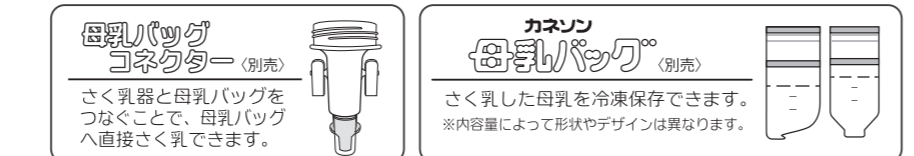
※本製品の部品は中国で製造し、日本で組み立て品質管理を行っております。
 ※本製品の仕様、外観は改良のため予告なしに変更することがあります。

部品を紛失したり、破損した場合は、弊社お客様窓口までお問い合わせください。

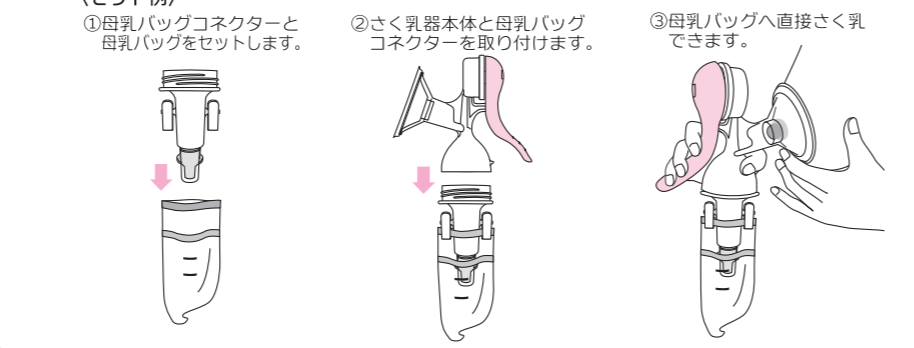
故障かなと思ったら

- Q1. 吸引圧がかからない。
 A1. ◆さく乳の際、乳頭がカップ部の中心にあるか、乳房はカップ部に隙間なく密着しているかを確認してください。
 ◆シリコンポンプ・さく乳カップカバーは隙間や浮きがなく取り付けられているかを確認してください。
 ◆逆止弁は歪みなく差し込まれているかを確認してください。
 ◆逆止弁の切れ目が開くことを確認してください。
 ※逆止弁は消耗品です。キズ・変形等が見られる場合は、別売しておりますので弊社お客様窓口までお問い合わせください。
- Q2. 手でしぼると母乳は出るのに、さく乳器ではさく乳できない。
 A2. 分娩直後で乳腺が発達途中である場合や、乳腺が細い場合にさく乳器の強い力で乳頭が引き伸ばされ、乳腺がより細くなって母乳が出にくくなるのが考えられます。また、初産や分娩間もない頃は、母乳の出方が悪いときがあります。数回試してみて、それでも出ない場合は専門医・助産師にご相談ください。
- Q3. 母乳は出ているのに哺乳びんに溜まらない。
 A3. 乳房にさく乳カップ部がきちんと密着していない場合、逆止弁が機能しないため母乳が哺乳びんに落ちません。必ず、さく乳カップ部を乳房に密着させた状態でハンドル操作を繰り返してください。また、逆止弁の切れ目が開くことを確認してください。

関連商品



さく乳器から母乳バッグへ直接さく乳！ ママらくハンドα+母乳バッグコネクター+母乳バッグ



カネソン株式会社
 〒534-0014 大阪府大阪市都島区都島北通 1-23-35
 お客様窓口 TEL06-6928-3199(祝日を除く月～金 10:00～16:00)
<https://www.kaneson.co.jp>

2101©

さく乳器 ママらくハンドα

自分にあったペースでさく乳できる 手動式

やさしく動くさく乳カップカバー 赤ちゃんが吸うような心地よさ

取扱説明書

【特長】

- 片手でさく乳できるハンドルタイプ。手動式なので自分のペースでさく乳できます。
- 吸引圧の調節ができるソフトモード付。
- ハンドルを操作する度にさく乳カップカバーがやさしく動き、乳房を刺激します。
- 付属の乳首に付け替えて、さく乳した母乳をすぐに飲ませることができます。
- 部品はすべて消毒が可能です。

ソフトモード
 ハンドルストッパーを緩こした状態でさく乳
 さく乳前の乳房マッサージとして、ソフトな吸引圧で乳房に刺激を与えます。

やさしく動く さく乳カップカバー

赤ちゃんがママのおっぱいを吸うときのように、ハンドルを操作する度にさく乳カップカバーがやさしく動き、心地良いマッサージ効果を与えます。
 ※さく乳カップカバーは付けなくても使用できますが、マッサージ効果は減少します。

乳首を付ければ、そのまま母乳を飲ませられます。

フード	乳首の空気弁とYカット部の確認	空気弁	Yカット部
	シリコンゴムの性質上、カット部分が粘着する場合があります。毎回、使用前にお手入れピンで空気弁とYカット部が開くことを確認してください。 ※お手入れピンを強く押し込むと裂ける可能性があります。少し開く程度まで押し、確認してください。		
キャップ	キャップの下から乳首を通してください。	やさしく引っ張りながらはめ込んでください。	乳首とキャップがきちんとはまっていることを確認してから、哺乳びんにセットしてください。
哺乳びん			
お手入れピン			

乳首交換の目安 飲む時間が急に早くなったり、母乳が口からあふれるような場合は交換時期の目安です。
 ※乳首は消耗品です。キズ・変形等が見られる場合は、別売しておりますので弊社お客様窓口までお問い合わせください。

部品名／組み立て図

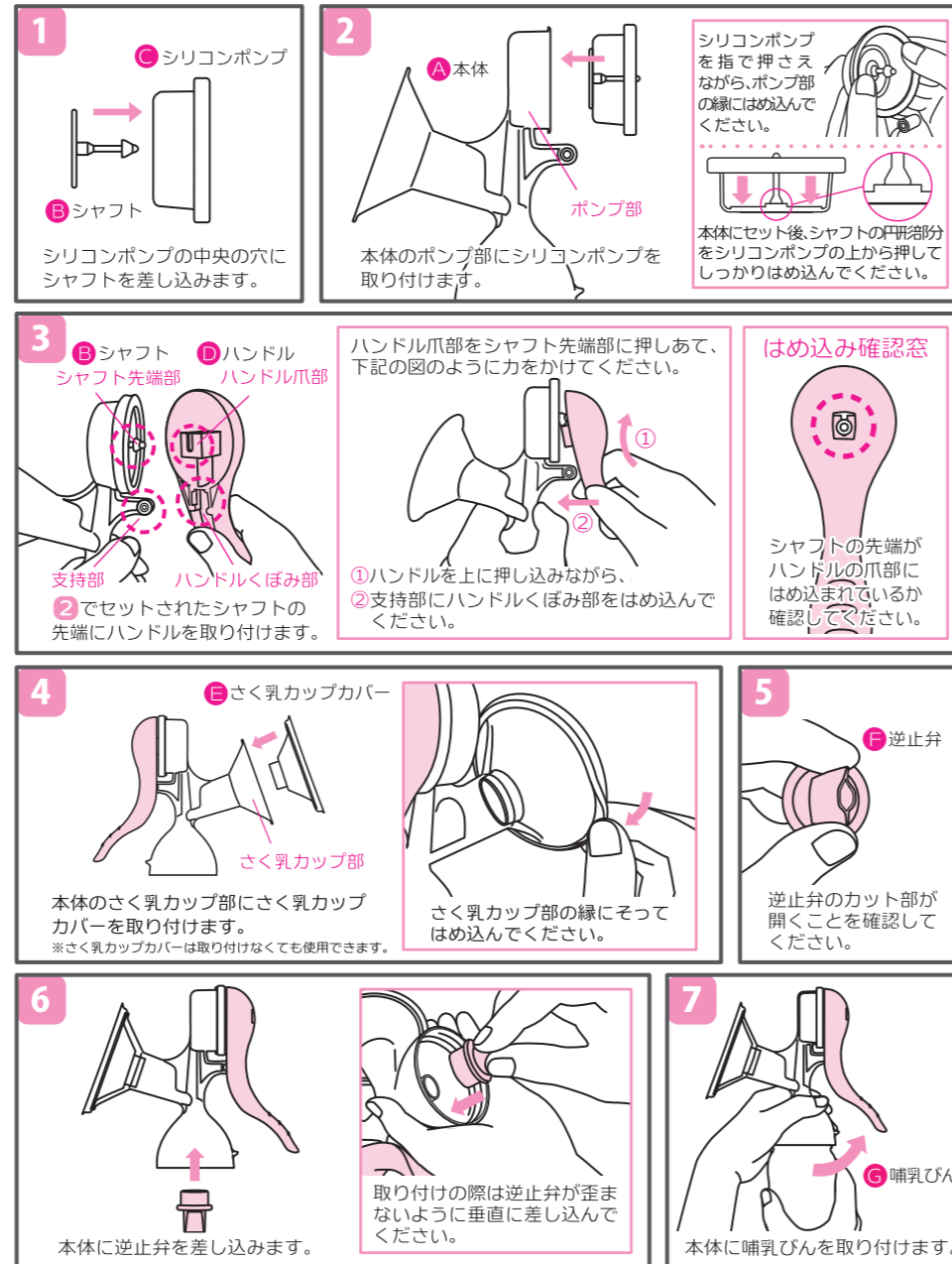


組み立て前のご注意

- ご購入時は逆止弁・乳首にオイル状の食品添加物を塗布しております。これは弁機能を守るためのもので安全性に問題はありません。
- シリコーンゴム製の部品は爪を立てたり、乱暴に扱ったりと裂けることがあります。
- 組み立て時、お子さまが各部品で遊ばないように注意してください。思わぬ事故の原因になります。
- 品質には万全を期しておりますが、各部品にキズ・ひび割れ・欠け・変形などがないかご確認ください。万一不具合な点がございましたら、弊社のお客様窓口までご連絡ください。

さく乳器の組み立て方法

手指を石けんでよく洗ってから、組み立ててください。

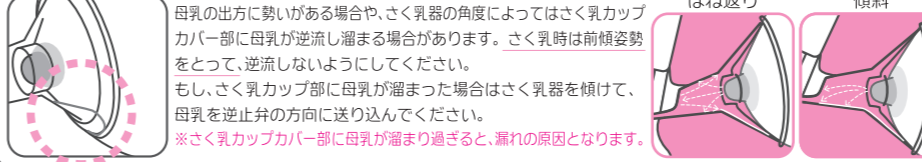
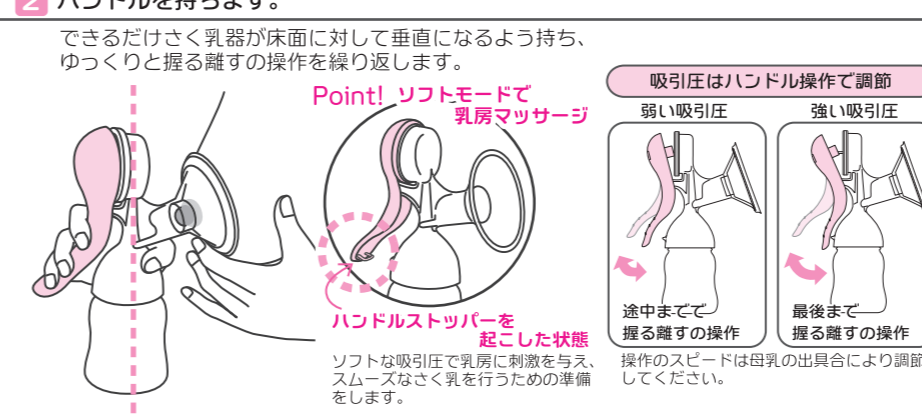
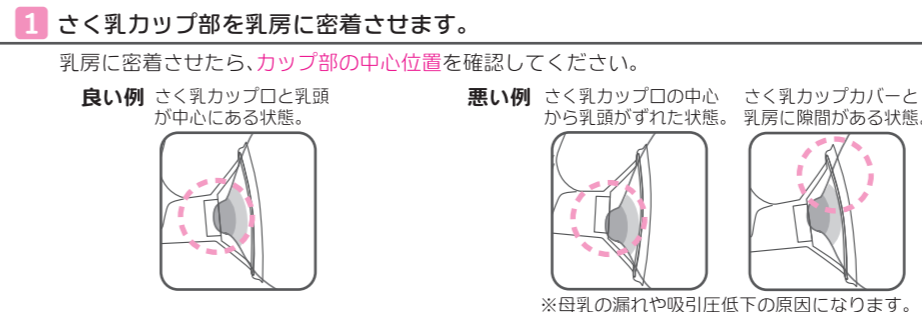


さく乳前のご注意

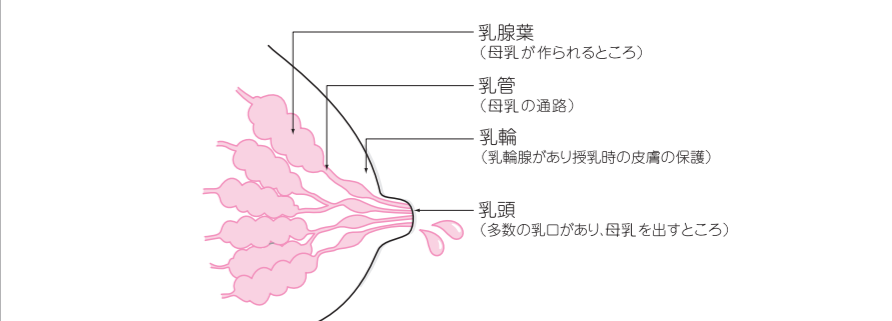
- ・必ず手指を石けんでよく洗い、乳頭も清潔にしてから行ってください。
- ・母乳の出方には個人差があります。さく乳器を使用しても母乳が出ない時には、無理に使用しないでください。乳頭・乳腺を痛める原因となります。
- ・乳頭や乳腺に異常や痛みを感じる場合は、さく乳をすぐに中止し専門医・助産師にご相談ください。
- ・さく乳の際は安定した姿勢でリラックスしてご使用ください。
- ・さく乳前に乳房のマッサージを行うと、母乳の分泌を促します。
- ・哺乳びんの目盛以上さく乳すると母乳があふれて漏れの原因となります。哺乳びんの目盛以上、さく乳しないでください。

警告 過度の使用は乳頭や乳腺を痛める恐れがあります。また、ハンドルを握る離すの操作を繰り返すので、手が痛む時は無理に使用しないでください。腱鞘炎を起こすおそれがあります。

さく乳手順



母乳分泌を促進するために



さく乳をスムーズにおこなうためには母乳がきちんと産生され、母乳の通り道である乳管を開いておくことが大切です。そのためには分娩直後になると乳管開通操作や乳房マッサージが必要です。どうしてもさく乳できない場合は専門医が助産師に相談してください。

お手入れ方法

- ①すべての部品を分解し、食器用洗剤などを使いスポンジやブラシなどで丁寧に洗浄してください。
- ②洗浄後は、煮沸・薬剤・電子レンジなどで消毒してください。
 - 煮沸 大きめの鍋にたっぷりの水を入れ、すべての部品が水面から出ないようにして鍋に入れお湯を沸かしてください。沸騰した状態にしてから、5分間煮沸してください。
 - 薬剤 市販の消毒剤を使用し、そのメーカーの指示に従ってください。
 - 電子レンジ 市販の電子レンジ消毒容器を使用し、そのメーカーの指示に従ってください。
 - ※電子レンジで消毒をする場合は、レンジ庫内を清潔にしてください。(庫内に油汚れ等があると接触部分で異常高温になり、電子レンジ消毒容器や中の部品が変形する場合があります)
 - ※煮沸・電子レンジでの消毒直後は、やけどに注意して取り扱ってください。
- ③消毒後は乾燥させてから清潔な場所に保管してください。

使用上のご注意

- 洗浄の際は、柔らかいスポンジやブラシなどを使用してください。硬めのスポンジやブラシで強くみがくと破れたり、キズの原因につながるおそれがあります。
- さく乳器以外の目的で絶対に使用しないでください。また、さく乳器は母乳の分泌を促すというものではありません。(扁平・陥没乳頭の矯正の補助にはお使いいただけません)
- 各部品は火のそばに置かないでください。変形・破損の原因になります。
- 食器洗い乾燥機は使用しないでください。変形・破損する場合があります。
- 長期間使用しない場合は、必ずシリコーンゴム製の部品は外しておいてください。
- シリコーンゴム製の部品は長期間使用すると若干黄色く変色することがありますが品質には問題ありません。
- お子さまの手の届かない場所に保管してください。